

基本目標

2

産業の振興で
活力あふれる
まちづくり

《産業》

1 農林水産業の振興

1 農林水産業

目指す姿（5年後の状態）

次世代の農業担い手が中心となり、遊休地を含めた農地活用の明確化や地域を巻き込んだ農地の多面的機能の保安全管理に努めることで、本市が誇る地域農水産物の安定的供給と地域コミュニティの活性化が実現しています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

農業産出額

令和2年度実績

1,468 千万円
2019年

令和8年度目標

1,541 千万円

【指標の説明・根拠】実績は前年度の数値、農林水産統計

現況と課題

- ◆日本の農業は、農業就業人口の大幅な減少と併せ、担い手の高齢化が進行しています。国の統計では、基幹的農業従事者は、令和2年に136.3万人と5年前より約40万人減少、65歳以上は約7割となっています。併せて、耕作放棄地の増加や有害鳥獣による作物被害、さらには法定伝染病の脅威や新型コロナウイルス感染症の影響による外食・観光需要の減少など、農水産業を営むうえで様々な課題が出ています。農業従事者の減少は、農村コミュニティの維持に影響を及ぼし、根本的な対策が求められます。
- ◆本市では、新規就農者の支援に力を入れてきましたが、今後は地域農業における中心経営体・農業の将来の在り方の明確化が必要となります。また、畜産業においては、イノシシによるCSFが蔓延していることから、これまで以上に家畜防疫対策の強化に努めるとともに、有害鳥獣駆除や施設整備による自衛対策を推進し、生産者にとって安心・安全な環境づくりが重要です。さらに、霞ヶ浦の水産業を活性化するには、消費者ニーズに合った新たな水産加工商品等の開発が求められるほか、森林については、林業振興のほか、引き続き水源涵養や災害防止の観点から適正な管理が重要となります。



施策の方向

総合戦略 行財政改革

①農業経営基盤の強化

総合戦略

安定した農業経営に向けた生産活動を支援し、担い手の育成や経営規模の拡大を図るとともに、水田利活用の推進に努めます。また、消費者の求める安全で付加価値の高い農産物の生産に取り組み、本市の農産物のイメージアップとブランド化を図り、消費の拡大につなげていきます。

1-2-2 地域ブランドの推奨と地域産品の消費拡大

②優良農地の確保と利用集積の推進

農地のもつ多面的な機能を保全しつつ、効率的で生産性の高い農地の確保や、規模拡大を目的とした担い手への集積を進めます。

また、農地の違反転用を防止するとともに、遊休農地の再生利用を推進することで、生産性の維持・向上につなげます。

③担い手の育成と後継者の確保

経営改善へ取り組む意欲のある生産者に対し支援を行い、担い手の育成に努めます。

1-1-1 新規就農・就漁者への支援

1-1-2 果樹等の農業継承の推進

2-1-1-2 農業後継者の育成

④畜産業振興

安全で高品質な畜産物の産出と生産性の向上を図るため、家畜防疫や衛生環境の改善に努めるとともに、環境保全を重視した畜産経営を支援します。

⑤林業振興

林業の活性化及び森林の多面的機能を促進するため、計画的な造林・間伐などによる森林機能の維持確保に努めます。

⑥水産業振興

水産業の経営安定化を図るため、国・県及び漁業関係団体等と連携しながら、水産資源の増大とともに、水産加工品の普及・消費拡大に努めます。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標	令和2年度実績	令和8年度目標
地産品の消費拡大 【指標の説明】市内学校給食や市内飲食店等へ地産食材を提供する回数	7回/年	17回/年
民間企業による農業参入の誘致 【指標の説明】農地中間管理機構等の関係機関と連携し、民間企業による農業参入を誘致した件数	0件	1件
遊休農地対策事業の推進 【指標の説明】農地の活性化を図るため、耕作放棄地を再生した面積	960a/年	1000a/年

関連する市の個別計画

- ◆農業再生協議会水田フル活用ビジョン（2021-2023）
- ◆農業振興地域整備計画（2019-2023）
- ◆森林整備計画（2022-2031）
- ◆農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（2021-2025）
- ◆鳥獣被害防止計画（2022-2024）
- ◆果樹産地構造改革計画（2020-2024）

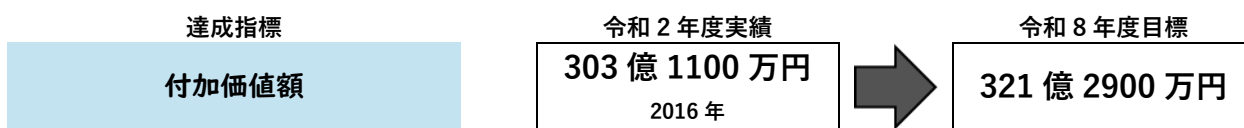
2 商工業の振興

1 商工業

目指す姿（5年後の状態）

環境に配慮した取組を通じた生産性の向上、多様な人材が働きやすい環境の創出等、ものづくりや人づくりを支援することで産業が活性化し、かすみがうらのまちに賑わいがうまれています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



【指標の説明・根拠】経済センサスにおける過去の推移から6%増加と設定

現況と課題

- ◆人口減少、高齢化、国外との競争の激化、キャッシュレス社会の伸展、後継者不足など、事業者を取り巻く環境は大きく変化しているため、AIやIoTをはじめとしたデジタル化や地域バイオマス資源を活用した脱炭素など成長分野への事業展開や消費者ニーズに対応した商品・サービスの提供を図っていくことが求められています。
- ◆本市には地場産品である豊富な農水産資源や果樹など、全国的にも付加価値の高い優れた特産品が多く存在しますが、市内事業者の多くが中小零細企業であり、人材、資金、技術力など経営資源の確保に関して大きな課題を抱えているため、人材育成や生産性の向上に向けた経営への支援が必要となっています。また農商工連携の更なる強化など、国内外を問わず、販路拡大を強力に推し進め同業他社との差別化を図る商品やサービスの提供も重要な振興策となります。
- ◆さらには商工業の持続的な発展を図るため、SDGsに向けた取組や、場所にとらわれない柔軟な働き方などワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境づくり等、市が旗振り役となり推進することが求められています。

データ

【工業の推移】

年次	事業所数 (所)	従業者計 (人)	製造品出荷額等 (千万円)	1事業所当たり (千万円)
平成28年	93	3,894	16,413	176
平成29年	77	4,791	21,049	273
平成30年	77	5,009	24,033	312
令和元年	73	4,807	25,934	355
令和2年	68	4,817	22,511	331

資料：茨城の工業（各年6月1日現在）

施策の方向

① 商工業の活性化

総合戦略

市内事業所の人材確保の支援を行うとともに、消費者ニーズの明確化や既存商品の分析、ECをはじめとした新しい販売方式の導入や新商品開発等「稼ぐ力」の強化を推進します。さらには脱炭素化に向けた取組支援、デジタル化による業務効率化、キャッシュレス化の普及促進による生産性向上を支援します。

1-2-1 販路の拡大

1-3-1 企業誘致と連携体制の強化

② 新しい働き方の推進

総合戦略

行財政改革

かすみがうら版ワーケーションプランをはじめ、場所にとらわれない柔軟な働き方を推進します。

1-5-1 新しい働き方ができる環境づくり

3-1-4-3 官民連携による地域活性化

③ 商工業の経営支援

茨城県や商工会、茨城県よろず支援拠点等関係機関との連携によるワンストップかつスムーズな経営サポートを行うため相談受入体制の充実度向上を図ります。

④ 事業継続力の強化

防災や減災、感染症等様々なリスクを想定した事前対策の推進を図ります。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

商工業支援策活用件数

【指標の説明】 事業者に対する市の支援制度活用件数

ワーケーションによる宿泊者数

【指標の説明】 ワーケーションプログラムを活用した宿泊者数

事業者の相談件数

【指標の説明】 商工会を窓口とした相談件数

国の「事業継続力強化計画」認定件数

【指標の説明】 防災・減災、感染症に係る対策を盛り込んだ事業継続力強化計画の認定を受けた件数

令和2年度実績

145 件

—

1,052 件

—

令和8年度目標

500 件

250 人

5,000 件

150 件

関連する市の個別計画

- ◆ 地域未来投資促進法に基づく基本計画（2017-2023）
- ◆ 歩崎地域観光振興アクションプラン（2019-2022）
- ◆ 自転車活用推進計画（2021-2025）



〔ワーケーション実証プロジェクト（古民家 江口屋）〕

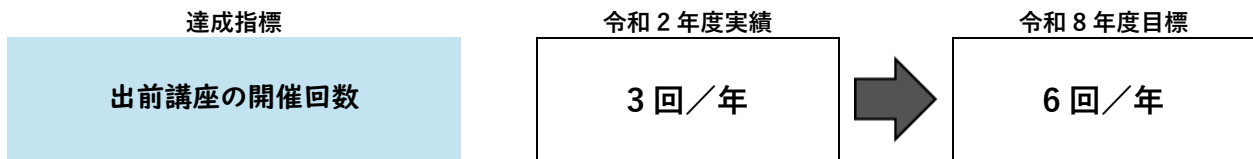
2 商工業の振興

2 消費生活

目指す姿（5年後の状態）

NPO法人等への委託により消費生活相談員の安定確保に努めるなど、
市民が安心して消費生活を送ることができる相談支援体制が整っています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



【指標の説明・根拠】小中学校の児童・生徒や市民団体等に対して消費トラブルに関する知識の普及・啓発を行う

現況と課題

- ◆市では市民からの消費生活に関する相談及び苦情に適正かつ迅速に対応するため、消費生活相談員の雇用や消費生活センターの開設などを進めてきました。また、相談体制の充実とレベルアップ、市HPや広報誌等による情報提供、消費者団体との連携による普及啓発活動、市内小中学生や市民団体等を対象にした消費者出前講座の開講、放射性物質検査や店舗立ち入り等による食や製品の安心安全のための業務などに取り組んでいます。
- ◆そのような中、消費生活相談員に寄せられる相談件数は年々増加し、その相談内容も高度化、専門化しています。また、相談者の苦情が相談員個人にぶつけられるケースも多く、相談員を取り巻く環境は厳しくなっていることから、全国的に消費生活相談員が不足し安定雇用が困難な状況となっており、市民サービスの低下が懸念されています。
- ◆このため、今後はNPO法人等へ消費生活相談業務を委託し運営を移行するなど、相談体制の充実を図っていく必要があります。

施策の方向

①相談体制の充実

総合戦略

消費生活相談業務を委託することで、相談員の安定雇用を確保し、住民がいつでも気軽に安心して相談できる体制づくりを構築します。

1-4-1 市内事業者に対する支援体制の充実

②消費者被害防止対策の推進

国、県、他市町村との情報交換を密にし、架空請求や悪質商法等の日々変化していく情報を把握し、HP、広報誌、チラシなどを活用して、いち早く市民に周知し、被害を事前に防ぎます。また、求めに応じ、学校や市民団体等に直接出向き、最近の相談事例などを紹介しながら、架空請求や悪質商法など、最新の手口やその対象法などを指導するなど、消費者教育を推進します。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

消費生活センター業務の体制協議

【指標の説明】雇用形態や業務委託等の導入、導入後の体制の見直しを定期的に協議

出前講座の周知回数

【指標の説明】チラシの作成配布1回、広報誌の記事掲載1回、学校等団体訪問5回

令和2年度実績

—

7回/年

令和8年度目標

1回/年

7回/年



〔消費者出前講座〕

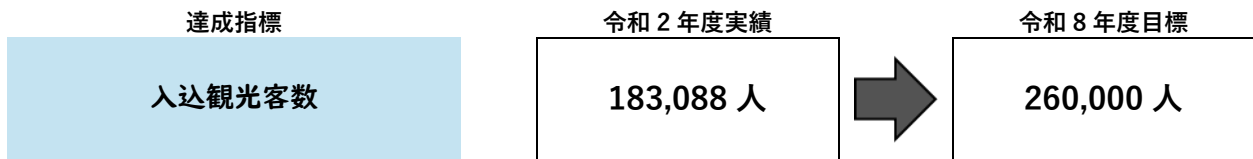
3 観光の振興

1 観光

目指す姿（5年後の状態）

本市特有の観光資源を磨き上げ、観光拠点を整備するとともに
新たな観光 PR ツールを有効に活用することで地域に活気があふれています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



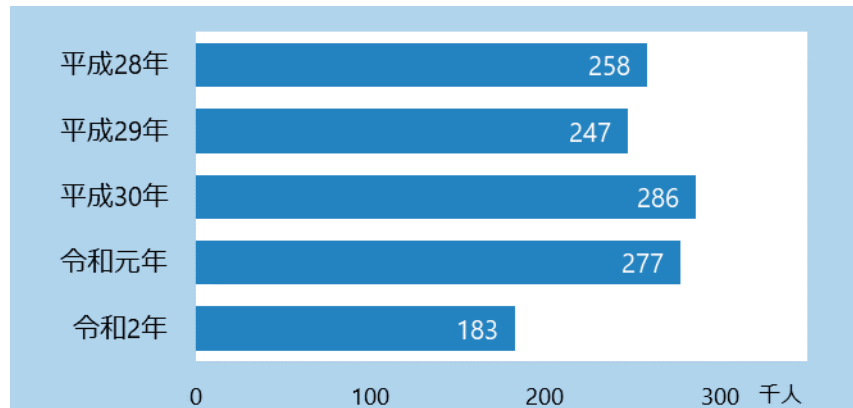
【指標の説明・根拠】各指定管理者等から提出される月報等

現況と課題

- ◆本市は、北西部と南東部に水郷筑波国定公園があり、山と湖の対照的な景色や多くの歴史的遺産、観光資源を有しており、地域ブランド「湖山の宝」の活用、果物狩りや帆引き船操業、各種イベント開催などによって魅力を PR してきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により従来型の大規模イベント開催による誘客の観光のあり方は見直しを迫られています。
- ◆今後も果物狩りや帆引き船操業、サイクル事業等の本市特有の観光資源を活用しつつ、コロナ禍を前提としてイベントを個別型・分散型・小規模イベントの観光形態で展開していくとともに、滞在時間を伸ばし市内消費につなげていくことが重要となっています。
- ◆また、急速な IT 化に対応した新たなツールを積極的に活用した観光需要の喚起も求められています。歩崎公園・雪ふれあいの里公園などの観光拠点では老朽化した施設機能の改善を図りながら、より一層魅力ある施設として整備していく必要があります。

データ

【本市への入込観光客数の推移】



資料：茨城の観光レクリエーション現況（各年1月から12月の合計）

施策の方向

①観光の推進体制とPRの充実 総合戦略

関係機関等との広域連携を維持しつつ、新たなソーシャルネットワークサービス等に柔軟に対応していくことで本市観光PRにつなげていきます。

また、市内の観光施設等において観光情報が得やすい環境を整備し、受け入れ態勢の強化を図ります。

2-2-1 地域資源を生かした体験交流型観光の受け入れ態勢強化

②観光サイクルサービスの推進

霞ヶ浦周辺や筑波山系の里山でのサイクリングのPRと併せ、自転車利活用の動機付けとなる観光サイクルサービスを推進します。

③自然資源を生かした果樹観光

豊かな自然環境からもたらされる果樹などの恵みを観光資源として活用します。

④観光資源の活用

果物狩り、帆引き船操業、サイクル事業等本市特有の観光資源の活用をコロナ禍に対応した形態で行っていきます。また、滞在時間の延長やリピート化を図るためイベント等を造成するなど「稼げる地域づくり」を推進します。

⑤観光拠点の整備

老朽化した観光施設の整備と魅力的な観光拠点づくりを計画的に行っていきます。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

湖山の宝フェイスブックページの投稿件数

【指標の説明】 集計データ

観光果樹園入込人数

【指標の説明】 観光果樹園への来園者を増加する

観光資源を活用したイベント数

【指標の説明】 集計データ

観光拠点の自主事業・企画事業

【指標の説明】 指定管理者（交流センター、雪入ふれあいの里公園、三ツ石森林公園、水族館）から提出される年報

令和2年度実績

51件

令和8年度目標

60件

99,600人

150,000人

18件

20件

42件

50件

関連する市の個別計画

- ◆ 歩崎地域観光振興アクションプラン（2019-2022）
- ◆ 自転車活用推進計画（2021-2025）



〔つくば霞ヶ浦りんりんロード（歩崎公園前）〕